

## 「発達心理学」授業報告書

教育臨床 水口啓吾

### 授業情報

授業名 発達心理学

開講 2020年度後学期水曜日4時限目

受講者数 44名

授業概要 本授業は、生涯発達心理学の観点から論を進めていく。具体的には“人は生まれてから死ぬまで様々な変化を遂げるが、その変化がどのように起きていくのか、変化に影響を与える要因は何であるのか”ということを明らかにしていく。授業では、先行研究を紹介しながら、人の変化、すなわち発達について解説していく。なお、発達（変化）には成長だけではなく老化も含まれることも視野に入れながら、社会的な発達について詳細に述べていく。生まれてから死ぬまでの生涯における人間の発達の観点を重視しながら、心身の発達の諸相に関する理解を深めていく。

### 授業到達目標

- ① 発達心理学の基礎的内容について理解する。
- ② 生涯発達の観点を踏まえながら、人間の発達過程や諸問題について理解する。

### 授業スケジュール

- 第1回：オリエンテーション ～発達とは～
- 第2回：発達をもたらす諸要因
- 第3回：他者との関わりの中での発達
- 第4回：認知的発達
- 第5回：行動科学の基礎的理解
- 第6回：社会性の発達
- 第7回：乳幼児の発達諸相
- 第8回：児童期の発達諸相
- 第9回：青年期の発達諸相
- 第10回：成人期の発達諸相
- 第11回：壮年期の発達諸相
- 第12回：老年期の発達諸相
- 第13回：虐待加害・被害の現状と課題
- 第14回：虐待加害・被害への臨床的支援
- 第15回：まとめ

### 授業形態

本授業では、基本的に、講義形式での進行であったが、適宜、テーマに関連する動画の視聴や最近のニュースの紹介を行い、受講生の関心を高める努力を行った。また、授業内のテーマに関して、受講生にコメントを求める機会も設けた。内容については、全体開示の許可を学生に取ったうえで、授業中に紹介した。授業スタイルとしては、配布資料に適宜、穴埋めを設定し、受講生が授業中のスライドを見て記入する形を採用していた。こうすることで、受講生自身に授業への積極度を高めてもらおうと同時に、「どの箇所が授業で重要であるのか」を常に意識してもらえるように努めた。

### 授業アンケート

授業中に、授業全体に関するアンケート（自由記述型）を実施した。以下、その抜粋を紹介する。

○教師からの説明が中心なため、授業に集中して取り組むことができる。○各内容について、簡潔にまとめられているので理解しやすい。○動画&説明で理解しやすい。○具体例が多いので記憶に残りやすい。○資料が穴埋めなので大切な箇所が分かる。○先生の話が中心なので、意見を求める機会がもう少しあっても良いと思う。○先生が実際に聞いたり経験したりした内容をもっと盛り込んでほしい。○内容はおもしろいが、情報量が多いため整理しにくい。○小テストをしてもらえるともっと整理しやすくなる。

### 授業改善点

受講生の“生の声”が授業中に確認できる機会をもっと作るべきであった。学生同士での話し合いや教員との意見交換の場を増やすことで、より、受講生の授業内容の理解を深化させることができるため、その機会が少なかった事が反省点である。また、授業資料においても、穴埋めスタイルを採用していたが、情報量が多いことは事実である。そのため、受講生にとって「どの内容が重要であるのか」が分かりやすくなるように工夫をすべきであった。改善点として、単純に内容を説明するのではなく、「ここは重要です」、「この内容は補足的に理解してください」といったように、適宜、言語的な情報提供を取り入れていきたいと考える。